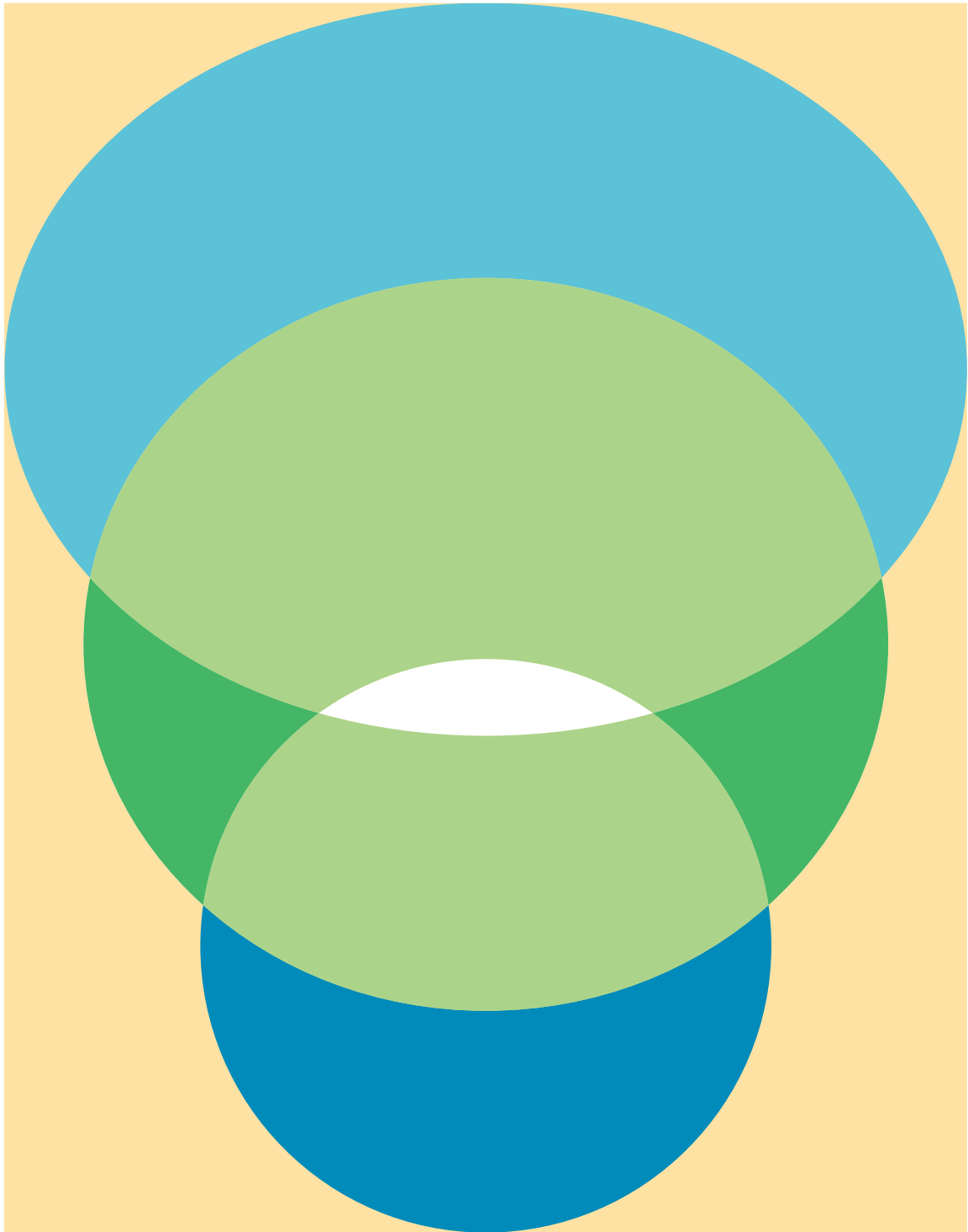




779

2025
4.22

日精看の研究システムをフル活用しよう！



NISSEIKAN NEWS 日精看ニュース



こころの健康を通して、だれもが安心して暮らせる社会をつくれます。

使わない手はない！ ムをフル活用しよう！

学術集会の
「教育認定委員会企画」に、
ぜひご参加ください！

システム1、2、3の詳細は
日精看オンラインを
ご参照ください！



所属施設で倫理審査を受けられない、文献を検索したいけど何を見たらよいか分からない、自分が発表した過去の文献を見つけたい、研究しなくちゃいけないけどやったことがない、どうすればいいかわからないなど、困っている方も多いのではないのでしょうか。ご心配なく！日精看は会員のみさんの精神科看護の探究をサポートするさまざまな取り組みを始めています！

2024年度からスタート 施設内に審査機関がない方を無料でサポート！

研究倫理審査は、行いたい研究が人などを対象とする際に、各種ガイドラインに沿って研究対象への影響を最小限にするための倫理的な配慮がなされているかを審査するものです。

近年では、審査承認を得ていない研究は倫理的な配慮が十分であっても発表が認められないなど、倫理審査が必須要件になってきています。また、倫理的配慮には、研究計画が実行可能なものなのか、どのような研究の意義、つまり対象や社会にとっての利益があるものなのかなども問われます。

日精看が行う研究倫理審査を活用できるのは、原則として、会員が所属する施設に研究倫理審査委員会

もしくはそれに類する審査承認組織を有していない場合に限定されます。つまり、会員の研究活動と、研究開始を保証するための組織です。十分な倫理的配慮がなされるために、数回の教育的なやりとりを行う場合もあります。より多くの研究開始を手助けする日精看の倫理審査委員会をぜひ有効に活用してください。

*審査を受けるうえでの要件などについては日精看オンラインで確認してください。



増満 誠
(ますみつ・まこと)

日本赤十字北海道看護大学精神看護学 教授
日本精神科看護協会 理事、教育認定委員
研究倫理審査委員長（北海道）

システム

1

研究倫理審査

研究開始への第一歩のための 「研究計画書作成における『倫理的配慮』」

研究計画書（基本的枠組みの例）

1. 研究背景（研究疑問・現状・文献検討）
2. 研究目的（何のために行うのか、何を明らかにするのかなど）
3. 研究の意義
(対象への利益、看護への貢献、社会・集団・個人への還元など)
4. 研究デザイン（量的・質的・混合、事例・介入・実験など）
5. 研究対象（患者・家族・看護師・組織集団、選定方法など）
6. 研究期間（研究に要する期間など）
7. データ収集方法
(質問紙調査、インタビュー、実験などの具体的方法)
8. データ分析方法
(記述統計、推測統計・分析ソフトの利用、研究者による分析、信頼性・妥当性の確保 など)
9. 倫理的配慮



研究計画段階における「倫理的配慮」10のこと

- ① 人権の配慮、個人の尊厳および自由意思の尊重
- ② 紙面・口頭での研究の目的・意義・方法の十分な説明
(先行研究などの検討による研究の目的や意義が明確であるか)
- ③ 対象選定と自由意思での参加の保証（強制力が働いていない）と同意方法、代諾者やオプトアウトなど
- ④ 研究参加における利益と不利益の説明
- ⑤ データ収集・分析における配慮（調査の強制力排除、調査用紙回答投函での同意、妥当な方法であるか、面接場所の配慮、安全性など）
- ⑥ 身体的・心理的・経済的負担がない（もしくは最小限にしているか）、また発生時の対応
- ⑦ 個人情報保護、プライバシー保護、記号化・抽象化を行うこと
- ⑧ 結果の公表方法の説明
- ⑨ 同意撤回が可能、撤回しても不利益がないことの説明
- ⑩ 得られたデータの保管方法・期限や処理方法

出典)増満誠：悩み解決！看護研究計画書をつくってみよう！
令和6年度福岡県看護協会研修オンデマンド配信資料、2024を引用改変

審査を担当しています——研究対象者と研究者自身を守る

研究倫理審査では、精神科看護の質の向上に役立つ価値ある研究が、研究の対象となる方たちの安全や人権に十分に配慮して計画されているか、第三者の目で確認していきます。研究者は、行おうとしている研究のプロセスで、対象となる方たちの安全やプライバシーなどが脅かされていないか、具体的に研究をシミュレーションしながら倫理的配慮を検討していくことが必要です。このプロセスは、研究の対象となる方たちを守ることはもちろんですが、研究者自身を守ることにもなると考えています。



畦地 博子
(あげち・ひろこ)
高知県立大学看護学部 教授
日本精神科看護協会 教育認定委員
研究倫理審査委員（高知県）

メディカルオンライン

〈医療関係者のための医学文献検索サイト〉

無料で閲覧！過去の先行研究をググッと検索！

1 会員特典で何ができる？

メディカルオンラインは、医療関係者のための医学文献検索サイトです。日精看会員ログインをすると、会員にだけ提供されるメディカルオンラインのIDとパスワードを見ることができます。日本精神科看護学術集会誌に掲載されている支部推薦論文や一般演題Aの論文の閲覧やダウンロードが無料でできます。

2 日精看の学術集会で発表された論文を閲覧するメリットは？

- ① いま対応に困っている患者さんを別の角度から理解するための視点を得たり、新しい看護のアプローチに気づいたりすることができます。
- ② 過去の研究や報告の成果をふまえ、これから行おうとする取り組みの方向性を見出したり、新規性のある研究につなげたりすることができます。
- ③ 取り組んだ研究や実践を考察するにあたって、主張を正当化し、説得力のある原稿を仕上げるうえでも役立ちます。

3 アクセス方法

右記の画像を参考に Web サイトにアクセスしてください。「日本精神科看護学術集会誌」と検索バーに入力して、必要な文献をググッと探してみましょう！会員限定の特典を活用して、ぜひこの貴重なリソースを最大限に活用しましょう。



岡田 俊輔
(おかだ・しゅんすけ)
日本精神科看護協会
教育局(東京都)

会員だけの特典！ 日精看の研究システム



共同研究マッチング

対等な関係で現場に即した研究ができる！

日精看の共同研究マッチングは、研究の知識も経験も少なく不安な臨床実践者と、そのような実践者と一緒に研究活動を行いたい大学教員などの研究経験者が出会う場を提供するものです。マナブルにて会員限定に公開している「マッチングリスト」を閲覧して、一緒に研究したい人を見つけることができます。

教える・教えられるという一方的な関係にならないように、お互いの強みを補完し、対等な立場で研究活動を行ってください。詳細は『日精看ニュース』2023/2/22号(No.765)を参照してください。



木戸 芳史(きど・よしふみ)
浜松医科大学医学部看護学科
教授、日本精神科看護協会
業務執行理事(静岡県)

新鮮な出会いがいまままでの自分を変えてくれた —— 研究対象者と研究者自身を守る

当院ではさまざまな事情により看護研究の発表件数は年々減少傾向となり、私自身も看護外来に興味をもちながら踏み出せずにいました。そのようなとき精神科認定看護師の更新審査に看護研究が必須になることを知り、勇気を振り絞って「共同研究マッチング」のリストを閲覧。同じテーマに興味をもつ江波戸さんに連絡しました。共同研究は研究者の専門的なノウハウを学ぶ機会になると同時に、新鮮な感覚で話しあうなかで自院に閉じこもっていた自分の迷いが払拭され、視野を広げて一步踏み出す勇気をいただきました。自己流で未熟な看護を続けていることを認めてくれる研究者との出会いは、私にたくさんの勇気と精神科看護の楽しさを与えてくれます。



竹原 厚子
(たけはら・あつこ)
香川県立丸亀病院
精神科認定看護師(香川県)

臨床に根ざした研究の喜びを実感！ —— 共同研究者の立場から

登録するときは「本当に連絡なんてくるのだろうか？」と半信半疑だったので、竹原さんからメールが届いた日のことは忘れられません。自分の関心領域や研究テーマを公開していたので、当然のことながら同じニッチな関心をもっている方でした。話が合わないはずはありません！豊かな臨床経験をもつ実践家に研究者のノウハウを提供し、臨床に根ざした素晴らしい研究ができあがっていくプロセスは、喜びでした。距離は離れていてまだお会いできていませんが、年に1度の日精看の学会でお目にかかれる楽しみもできました。共同研究マッチングで広がる素晴らしい出会いと精神科看護の深まりを、ぜひ体験してほしいと思っています。



江波戸 和子
(えばと・かずこ)
千葉大学大学院看護学研究科
精神看護専門看護師(東京都)

日本精神科看護学術集会(兵庫県)の一般演題Bで、竹原さんと江波戸さんが共同研究マッチングをテーマに発表を行う予定です。ぜひご参加ください！(学術集会のご案内はp9をご参照ください)

クリニカルラダーを導入している全国の施設をめぐり、その施設のラダーの特徴や課題をお伝えしていきます。ラダーの導入準備や運用方法、看護教育の情報収集などにお役立てください。



日精看版ラダーの詳細はコチラから!

魅力的な看護部、看護職を発信する

クリニカルラダーを活用することによって、スタッフの成長が目に見えるようになりました。当院ではラダーレベルごとに課題レポートを提出してもらっていますが、先日、レベルIのときから見てきた職員の成長がレポートに表現されていたときは、大変うれしと感じた瞬間でした。

このような当院の魅力ある看護職、看護部を外へ発信する方法のひとつとして、ホームページの活用があります。そのなかでもやはり教育体制は重要で、「教育体制について詳しく聞きたい」「どのようなキャリア支援があるか知りたい」など入職を考えている学生さんや中途採用希望者の方から、ホームページを見てお問い合わせをいただくが増えています。

また、当院の教育委員会では毎月「教育通信」を作成して、研修会の様子や教育に関するお知らせをしています。これもホームページで発信しています。いきいきした看護部、看護職の様子を見ることができますので、ぜひご覧ください。今後も魅力的な看護職の育成、精神科看護の魅力を、病院内外に伝えていきたいと思ひます。



八事病院ホームページは
コチラから!

八事病院のクリニカルラダー ここがポイント! 看護専門職の生涯学習支援を手厚く!

当院では厚生労働省より出された「新人看護職員研修ガイドライン」を参考にして、クリニカルラダーの導入を検討し、2011年から導入してきました。教育には力を入れてきた病院ですが、精神科の単科でもあり、精神疾患や精神的な対応など研修プログラムに取り入れ、新人教育をしてきました。

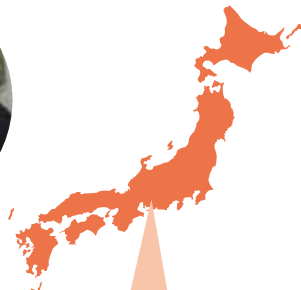
現在は、新人看護師のみならず、すべての看護職員がラダーを活用して、看護実践能力を評価し、動機づけと教育サポートを行い、教育目標を掲げて、レベル別に知識を高め、技術を実践し経験を重ねています。これらは「個人経験録」に記録し、自身も他者も成長の過程を確認することができ、継続的に個々の学習支援ができる体制になっています。

学習内容はレベル別に設定しており、OJTで学ぶ

お話をしてくださった方

左：秋山廣子さん（看護部長）

右：高西美和さん（看護師長、教育担当師長）



病院 DATA



医療法人資生会八事病院 (単科精神科病院)

【所在地】愛知県名古屋市

【病床数】425床

(単科精神科病院)

【看護職員数】看護師 172名

(2/1 時点) 准看護師 63名

(看護学生 36名)

ものと、Off-JTで学ぶものに分けています。これらの院内教育の計画は教育委員会が中心となり、時代の流れに合わせて内容をブラッシュアップしています。

最近では、スタッフ個々に自身の成長の道しるべが見えることでの安心感や教育サポートがあることによって、看護専門職として働き続けることの重要な要素になっていると感じます。新人看護師にはスタッフ教育を担っている副看護師長が中心となって、戸惑いや悩んでいるときには、一緒に方向性を考え、状況を確認しながらかかわっています。スタッフ個々に対して専門職業人としてのモラルや倫理観を養えるように動機づけ、メンタル面へのサポートにも対応しています。このようなかわりによって、看護全体のレベルアップにもつながっているのだと思います。



比嘉将和(ひが・まさかず)
沖縄県立精和病院 精神科認定看護師
日本精神科看護協会 業務執行理事
(沖縄県)

精神科看護の魅力や看護部の魅力、個々の看護職の魅力を生み出す教育体制、そしてそれを内にも外にも発信する取り組みが素晴らしいですね。



木戸芳史(きど・よしふみ)
浜松医科大学医学部看護学科 教授
日本精神科看護協会 業務執行理事
(静岡県)



学術集会論文の
提出に関する
情報はコチラから!

#22 研究デザイン

本コラム、実は「論文の全体構造」の話をしていたのですが、だいたい長く脱線していました。脱線前にどこまでお話ししたかというところ……「緒言」(#12 No.768)に次いで、「方法」(#13 No.769)について説明し、執筆ガイドラインの活用について紹介をしたのでした(#14、15 No.770、771)。

執筆ガイドラインに書かれているように、「方法」の冒頭には研究デザインを記述します。

それでは、みなさんが行っている研究の「研究デザイン」はなんですか?

私たち看護師がよく行う研究に限定すると、大きく「事例研究」「質的研究」「量的研究」「文献研究」に分類できるかと思えます(「文献研究」については#17で説明していますので、バックナンバーをご参照ください)。

上記の研究デザインは、さらに細分化されていきます。

たとえば質的研究なら「質的記述的研究」「内容分析」「グラウンデッド・セオリー・アプローチ(GTA)」「現象学」など。量的研究なら「横断研究」「症例対照研究」「コホート研究」「前後比較研究」「無作為化比較試験」など、多種多様な研究デザインがあります。

研究をする人は、文献レビューによって導き出された「この研究によって明らかにしたいこと」にもとづいて、「それを明らかにすることができる研究デザイン」を選択します。くれぐれも、この順序が逆になってはいけません。あなたが明らかにしたいことは、その研究デザインで明らかにすることができるのか。まずはそれをしっかり検討することが大切です。

それでは、次回からは「事例研究」の特徴についてお話していきます。

地域から届けます! 精神科看護師のメッセージ

いま、地域で働く精神科看護師が増えて
います。みなさん、どのようなことを大切
にしながら実践しているのでしょうか。



訪問看護の
情報はコチラから!

第9回 「ここに住み続けたい」を応援する——能登半島地震での被災を超えて

みんなに助けてもらっている
ことを実感

当ステーションは、石川県七尾市にあり、能登全域の利用者さん宅に訪問しています。「利用者さんのその人らしい生活と笑顔あふれる毎日を応援します」という理念のもと、訪問看護をしています。

2024年1月1日、能登半島地震が発生しました。ライフラインが完全に遮断されるなか、しばらく安否確認に追われました。連絡がとれない利用者さんは行政の方に調べてもらい、震災8日目に利用者全員の無事を確認できました。普段からの顔の見える関係が大事だと痛感しました。

奥能登にも利用者さんが住んでいましたが、道が断絶していたため、保健所から訪問を控えるよう要請されていました。1か月後、ようやく訪問が実現。片道4時間かけて出向き、避難所や自宅を訪問し、県内外、いろいろな仲間からいただいた支援物資をお渡ししました。利用者さんの顔を見て、本当に安心しました。

病院も薬局も開いていない地域では薬が入りず、近所の薬局から入手したり、DPATにお願いして届けてもらいました。避難所で利用者さんが大声を出してトラブルになりかけたときに、市民の方がうまく対応して大事に至らなかったこともありました。このようになかで自分なりに「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」をイメージできた気がします。

過重なストレスがかかるため避難所

に行くことができない利用者さんにも、「ここで暮らしたいから」と、電気もつかず水も出ない、壊れた家に住み続けている姿を見て、強さを感じると同時に、「『ここで住みたい』を応援しなければ」と改めて思いました。

誰ひとり取り残さない訪問看護を

この1年間、私たちは「訪問看護をやりたい」と思ったときの原点に立ち返ろう」という思いで活動してきました。この思いをもち続けながら、「震災後も地元を離れず住み続けたい」という方たちを、誰ひとり取り残さずに応援していきたいと思えます。

今回の震災で、災害弱者としての精神障がい者の存在が浮き彫りになりました。これからも、訪問看護師として、地域住民として、「この人なら安心できる」と思ってもらえる存在になりたいです。



私自身も被災しましたが、県外のボランティアの方が笑顔と一緒に作業してくれました。帰るときにも「元気でいてね」と声をかけてくれて、とても励まされました。



岡浦真心子
(おかうら・まみこ)
らいず訪問看護ステーション管理者
精神科認定看護師(石川県)

精神科認定看護師実践報告

精神科認定看護師は全国のさまざまな施設で、質の高い看護実践に取り組んでいます。その現場での実践内容を紹介します。
*なお、倫理的配慮として個人が特定されないよう、事例には改変を加えています。

精神科認定看護師 JOURNAL

ストレングスマッピングと パーソナルリカバリー概念に基づいて

私は2024年に精神科認定看護師となり、急性期病棟で勤務しています。精神科認定看護師教育課程で学んだ「ストレングスマッピング」と「パーソナルリカバリー」概念に基づく看護実践について紹介します。

事例紹介

Aさん(40歳代、男性)は、統合失調症を発症して以降、20年以上治療を続けながら家族と一緒に生活していました。しかし、幻覚や妄想にもとづく行動が原因で近隣のトラブルが発生し、入院となりました。入院後のAさんは、自己肯定感が低く、何事も確認しなければ行動できない状態でした。

ストレングスマッピングシートの活用

Aさんが「グループホームに退院したい」という希望をもち、「人の役に立ちたい」「働きたい」といった社会貢献への意欲を語ってくれました。そこで、Aさんと一緒に話し合い、長期目標を「グループホームに退院して働く」としました。

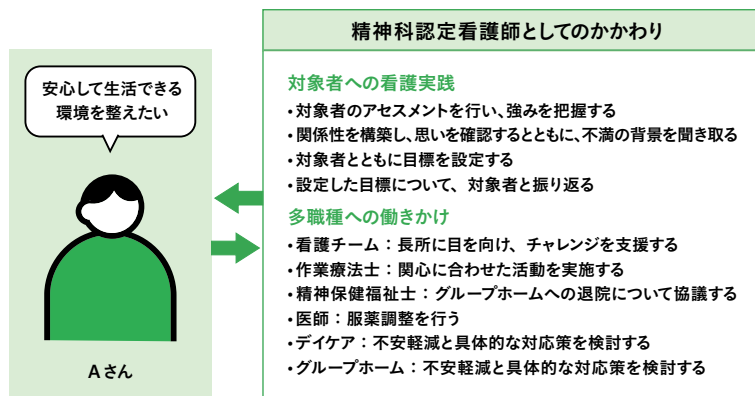
このようにAさんの目標に焦点をあてながら、ともに小さなステップを考えることで、自己肯定感の向上や妄想にとられる時間の軽減をはかることができるようにしたいと考えました。そこで、作業療法で生活技能の獲得や楽しみの場を拡大しつつ、「生活

リズムが整う」ことを短期目標としました。
対象者の思いの確認と情報共有

「パーソナルリカバリー」とは、疾患や障害があっても、その人らしい充実した生活を送ることです。その実現のためには、Aさんの思いや価値観を理解し、言葉や表現を正しくとらえることが重要です。

Aさんは退院準備としてデイケアやグループホームを体験しましたが、その後、くり返し不満を訴えていました。この発言だけを

図 パーソナルリカバリーをめざした支援のプロセス



とらえると「退院したくない」と考えているように思えます。あらためてAさんの言葉の真意をいねいに確認したところ、実際には「退院したいけど、安心して生活できる環境を整えたい」という前向きな思いがあることがわかりました。そこで、Aさんの思いを多職種で共有するためにそれぞれの職種に働きかけを行いました(図参照)。

現在、Aさんはグループホームで生活しながら、やりたいことにも少しずつ取り組んでいます。

精神科認定看護師教育課程で得たもの

この事例では、Aさんの言葉や価値観を正しく理解し、多職種と共有しながらAさんが希望する支援を整えていくことができました。この過程を通して、精神科認定看護師教育課程の学びを体現することができたと感じました。

このように教育課程では多くの学びがありました。この過程を通して、Aさんが希望する支援を整えていくことができました。この過程を通して、精神科認定看護師教育課程の学びを体現することができたと感じました。

今後、学びを深めながら、対象者の自己実現に寄り添える看護実践を続けていきたいと思えます。



向井大介
(むかい・だいすけ)
社会医療法人加納岩日下部記念病院
精神科認定看護師(山梨県) (2024年登録)

精神科看護が好きという思いだけではうまくいかない場面が出てきたとき、精神科認定看護師である上司の専門性と、温かく寄り添う姿勢に支えられました。私も誰かを支えたいと思い、精神科認定看護師を志しました。



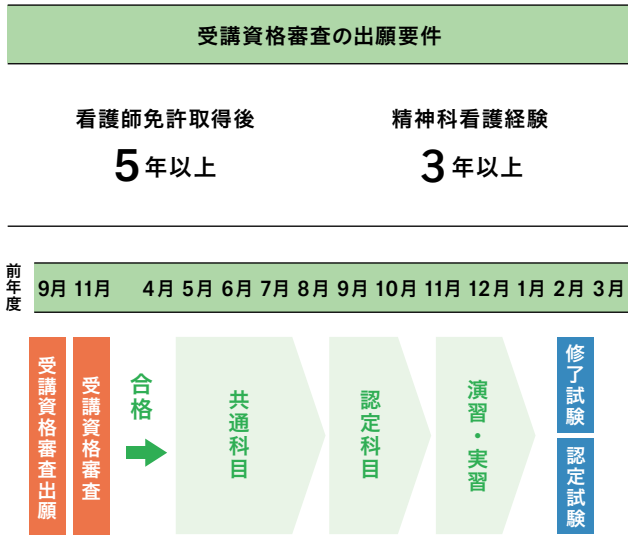
精神科認定看護師制度
の情報はコチラから！

INFORMATION

精神科認定看護師制度

精神科認定看護師教育課程が始まりました！

4月から新しい精神科認定看護師教育課程がスタート。共通科目、認定科目、演習・実習の順に学びます。共通科目では身体面をじっくり学び、認定科目では精神保健医療福祉や精神科看護の専門的知識を養います。演習・実習では、精神科認定看護師の役割を実践的に学びます。この教育課程を受講するためには、受講資格審査に合格する必要があります。精神科認定看護師の資格取得をめざす方は、ぜひ、説明会にご参加ください。



精神科認定看護師教育課程 新カリキュラム(案)

共通科目	時間数	認定科目	時間数	演習・実習	時間数
臨床病態生理学	40	精神科看護における看護倫理	15	総合演習	30
臨床推論	60	コンサルテーション論	15	臨地実習Ⅰ	135
フィジカルアセスメント	60	意思決定支援	15	臨地実習Ⅱ	45
臨床薬理学	60	教育論	15		
疾病・臨床病態概論	55	精神科看護に関連した法規と制度	15		
医療安全学/ 特定行為実践	60	ライフサイクルとメンタルヘルス	15		
		看護マネジメント論	15		
		看護研究	15		
		精神科看護学	15		
		精神科医療の治療を支える技術	30		
		安全を守る技術	15		
		地域生活を支える技術	15		
		リエゾン精神看護	15		
		関係性を築く技術	15		
小計	335	小計	225	小計	210
				総時間数	770

注：本教育課程の受講のみでは特定行為研修者にはなりません。

精神科認定看護師をめざす方のための説明会

この説明会では、制度の概要や精神科認定看護師の実践報告を行います。資格取得に関心のある方、精神科認定看護師のお話を聞きたい方など、どなたでもご参加いただけます。マナブルから下記の研修会にアクセスすると、プログラムなどの詳細を確認できます。

- 【申込方法】 マナブルからお申し込みください。
- 【参加費】 無料
- 【内容】 精神科認定看護師制度の概要、実践報告など

研修会名	開催日	開催方法
精神科認定看護師をめざす方のための説明会1 訪問看護ステーション編	2025/5/28(水) 17時～18時	ライブ配信
精神科認定看護師をめざす方のための説明会2 総合病院編	2025/5/29(木) 17時～18時	ライブ配信
精神科認定看護師をめざす方のための説明会3 精神科病院編	2025/5/30(金) 17時～18時	ライブ配信
精神科認定看護師をめざす方のための説明会4 オンデマンド配信	2025/6/10(火)～2026/3/6(金)	オンデマンド配信



研修会 PICK UP !

■ ハイブリッド研修：
気づきを活かす事例検討会 6回シリーズ

【講師】 末安民生（佛教大学保健医療技術学部）
西池絵衣子（兵庫県立大学看護学部）

立ち止まり、ケアの道しるべを探す！

この研修会は、会場参加者とオンライン参加者が一緒に事例検討をします。事例検討を初歩から学び、ケアの迷いや「困った」に立ち止まり、参加者同士で現場の経験を分かちあい、自身の変化を実感しながら日々の看護につなげます。

第1回は事例検討の基本を講義で学び、第2～6回は実際に事例検討を実施します。オンラインで全国各地からの参加者と会場参加者がつながりながら、2時間かけてひとつの事例に向きあいます。

「事例検討はちょっと苦手だな」と思っている方もいるかもしれません。少人数で参加できる本研修会で、一度、事例検討を経験してみませんか。ベテランの講師陣が、温かく皆様をお迎えし、一緒に事例検討に取り組みます！



2024年度の研修会の様子

ぜひご参加ください！

2025年度もハイブリッド形式で『気づきを活かす事例検討会6回シリーズ』を開催します。
皆様のご参加をお待ちしております。

【定員】 会場参加（日精看東京研修会場） 20名
ライブ配信 20名

【日程】 ① 8/24(日) ② 9/28(日) ③ 10/19(日)
④ 11/16(日) ⑤ 12/21(日) ⑥ 2026/1/18(日)



お申し込みはコチラから！

講師の末安先生・西池先生から
『ケアによるつながりを見直す事例検討会』

ケアはいつも準備が整ってできることばかりではありません。先行きが見通しにくいとき、治療や支援に制約があるときなど不全感に陥ることがある。ときには焦り、あきらめによってつい相手をコントロールしてしまうこともあります。そんなとき「ちょっと待った!」と立ち止まり、全体像を見渡し、仲間と新たな道しるべを探っていくのが事例検討会です。

自分の歩く道、ケアのマップを一緒につくっていきましょう。

2024年度受講者の声

新たな視点を発見！

もともと、事例検討会に対して大勢の前で発言することが怖いと苦手意識をもっていました。本研修にも上司のすすめがなければ参加していなかったと思います。しかし、本研修に参加して、さまざまな現場での経験をもつ参加者の皆様の視点を通して、看護上の苦しさや歯がゆさを共有することの安心感や、新たな視点を発見できる楽しさを感じることができました。患者様をより全人的にとらえる視野が広まり、参加して本当によかったと思いました。ぜひ、同じような思いを抱いている方にも体験してほしいと思います。

安井陽香さん
(医療法人社団薫風会山田病院・精神科看護歴6年)

実践に活かし、次回に評価できることが魅力

今回、事例検討会6回シリーズに参加させていただき、非常に学びの多い研修でした。参加者全員が一つの事例について語りながら考えることで、自身の思い以外の意見を聞くことができました。そして、事例提供後、自施設に戻ってすぐに研修内容を実践し、次回に評価できたことがよかったです。

今回、私はZoomでの研修参加でしたが、実際に会場で参加者の方々と顔を合わせて話したいと思いました。次回、参加させていただく機会があれば、ぜひ会場参加をしたいと思います。

西原健志朗さん
(医療法人聖和錦秀会阪和いずみ病院・精神科看護歴5年)



学術集会の
情報は
こちらから！

INFORMATION

学術集会

第50回 日本精神科看護学術集会 in 兵庫のご案内

会期：2025年6月6日(金)～7日(土)

会場：アクリエひめじ (JR姫路駅より徒歩10分)

事前申込期間：

2025年4月1日(火) 正午～5月6日(火) 正午

*6/6(金) 8時20分受付開始 / 17時00分ごろプログラム終了予定

*6/7(土) 8時20分受付開始 / 16時00分全プログラム終了予定

PRESENT!

式典にご出席くださる方には50周年記念の瓦煎餅をお渡しします。

会場で学術集会のアンケートに答えていただいた方には、姫路うちわまたは瓦煎餅をプレゼントいたします。*数に限りがございますのでご了承ください。

学術集会に参加して、限定のうちわや瓦煎餅を手に入れてください。ぜひ、学術集会の感想をお聞かせください。



50周年記念交流会

50周年を記念して、清交倶楽部～SEIKOCLUB～で交流会を開催します。

学術集会の申込サイトから事前参加申込と一緒にどしどしお申し込みください。当日のお申し込みはできません。

【日 時】 6/6(金) 18:00～

【定 員】 300名まで

【参加料金】 8,000円(お料理・飲料付き 税込)

※50周年記念瓦煎餅もお持ち帰りいただけます。

*申込方法は日精看オンライン「学術集会専用ホームページ」

ご当地情報

ふんわりグルメを楽しもう

兵庫県を代表するグルメのひとつに明石焼きがあります。別名「玉子焼き」ともいわれる明石焼き。中にタコが入ったふわふわとろとろの明石焼きを出汁に浸して食べる。ふんわりやさしいおいしさが口いっぱいに広がります。

また、瀬戸内海の穏やかな波で育まれたふんわりやわらかい穴子を、甘いたれをつけてご飯にのせて食べる穴子めしもぜひおすすめしたい一品です。穴子めしも出汁とよく合い、出汁茶漬けにすると、よりあっさりとした触感を楽しむことができます。

この機会に、兵庫のグルメを楽しんでください。

〈兵庫県支部委員〉



明石焼き



穴子めし

第32回 日本精神科看護専門学術集会 in 福島 演題登録期間のお知らせ

■ テーマセッションを募集します

下記のテーマで演者を広く募集します。テーマは以下の3つです。

1. 虐待通報・虐待防止委員会の活動
2. 医療保護入院の退院支援委員会
3. リカバリーカレッジ

【応募期間】 4/1(火)～5/31(土)

■ 演題登録期間のご案内

【一般演題A】 4/1(火)～5/31(土)まで
すべての区分(看護研究報告・実践報告・業務改善報告)に応募できます。

【精神科認定看護師
実践報告】 4/1(火)～5/31(土)まで

【一般演題B】 4/1(火)～5/31(土)まで

「ワークショップ」「交流セミナー」の応募が可能です。

※会員資格を有する方は、会員(会費納入済み)であることが必要です。

※協力者は発表者となりますので、学術集会への参加申込が必要です。

●応募要項や応募用紙は学術集会専用ホームページでご確認ください。

【お問い合わせ先】 senmon-gakkai@jpna.or.jp

韓国の学会に参加！―進むデジタル化を実感

私の職場である東海大学の精神看護学領域の先生が、2月に韓国で開催された「28th EAFONS 2025」でポスター発表を行いました。そのようなきっかけから、私を含め同領域の教員3名全員で学会に参加してきました。

本棚がそびえたつ写真は、学会会場を探している最中に迷い込んだ「ビョルマダン図書館」です。天井まで届く本棚、圧巻の景色でした。韓国内でも人気のスポットとなっているようで、偶然めぐり合わせに感謝です！

本学会のポスター発表は、会場内のいたるところに設置してある液晶パネルを操作して、各自が見るという方式。そこにはポスターだけでなく、発表者のメールアドレスやSNS情報まで掲載できるため、質問などは発表者と直接やりとりするというスタイルでした。「こんな方法もあるのか!」と、大変勉強になりました。



コロナ禍を経て、現地参加の魅力を取り戻した昨今

ですが、今後はデジタル技術を効果的に活用することが重要になると感じます。厚生労働省の検討会も、膨大な資料印刷・配布をやめて、卓上に設置されたタブレット端末で資料を見るところという方法に変わりました。機器に慣れない構成員が少々戸惑っている姿も見られますが、今後の時代を考えると利用できるようなったほうがいいでしょう。

大学生もコロナ禍の高等学校教育でタブレット利用が取り入れられ、新たな学習スタイルを身につけています。東海大学でも授業の資料の印刷・配布をやめて、デジタルに切り替える教員が増えました。

今後の課題は看護実習記録です。医学科ではかなり前から授業・演習・実習でタブレット端末を使用しています。付属病院では医療DXの試験的運用として、職員各自のスマートフォンを活用し、カルテに音声入力などを行っています。そのような時代を受けて、看護学科でも検討を始めました。



吉川隆博
(きっかわ・たかひろ)
日本精神科看護協会
会長



福島県県外避難者こころのケア訪問業務報告

3/8(土)に、オンラインで交流会を開催しました。当日は、福島県保健福祉部障がい福祉課にもご参加いただき、この業務に携わっていただいている支部を代表して宮城県支部の内田朋子氏と広島県支部の藤本雪子氏より実践報告をしていただきました。たくさんの支部よりご参加いただき「精神科看護師として行う災害支援と課題」について意見交換を行うことができました。

2024年度は、訪問対象世帯数697世帯のうち、約210世帯に訪問しました(2025/3/1現在)。ご協力いただいた支部、精神科看護職の皆様、ありがとうございました。



配信会場となった日精看東京研修会場の様子



前列左から、横山さん、山寺さん(福島県保健福祉部障がい福祉課)、藤本さん。後列左から、秋山さん、寺沼さん(日精看事務局)



登壇者の藤本さん(上)
内田さん(下)
(Zoom画面より)

中央法規出版から読者プレゼント

このたび、中央法規出版より、日本精神科看護協会編集『精神科看護職のための精神保健福祉法Q&A令和4年改正・令和6年施行対応版』が刊行されました。

10年ぶりの刊行となります。日常の精神科看護業務にまつわる法的な疑問を109のQ&Aでわかりやすく解説し、病棟、外来、訪問での現場実践に役立てられる1冊となっています。

本書を抽選で5名の方にプレゼントいたします。ぜひ、ご応募ください。



【応募方法】 ①お名前 ②年齢 ③住所 ④所属施設名
⑤会員番号を明記のうえ、メール (media@jpna.or.jp)にてご応募ください。
当選の発表は発送をもって代えさせていただきます。

【応募締切】 2025/5/31(土)

第50回定時総会のお知らせ

第50回定時総会を、以下のとおり行います。

【日時】 6/21(土) 14:00~16:00

【会場】 きゅりあん(最寄り駅: JR大井町駅)

日精看50周年について

2025(令和7)年は、日精看法人化50周年となります。

今年度は、50周年プロジェクトを立ち上げ50周年に向けてのイベントなどについて検討を重ねてまいりました。

以下の50周年事業に取り組み、日精看会員が歩んできた50年を振り返り、今後につなげていきたいと考えます。

50周年を日精看会員のみなさんと盛り上げていきたいと思っております!

- ・第50回日本精神科看護学術集会において50周年記念交流会を開催 (P.9 参照)
- ・50周年パンフレットの作成
- ・ホームページに50周年記念コンテンツを作成
- ・50周年記念品を学術集会、記念交流会にて配布

賛助会員からのメッセージ



株式会社トータル保険サービス
個人コンサルティング部 団体営業支援室
望月大祐(もちづき・だいすけ)

当社は、生命保険や損害保険を取り扱う代理店として、法人および個人のお客様に幅広い保険商品を提供しています。法人のお客様向けには、リスクコンサルティングや現在加入している保険の見直し等のソリューションを提供し、個人のお客様向けにはがん保険、医療保険、自動車保険など、お客様のニーズに合わせた保険をご案内いたします。

当社はブランドコンセプトとして「Your-side Solution」を掲げており、どんな場面でもお客様のパートナーとして親身に寄り添い、お客様に「安心」と「安全」をお届けしてまいります。

日本精神科看護協会の皆様から必要とされ相談していただける最良のパートナーとして、取り組んでまいります。

Message from Supporting member

日精看ニュース No.779 2025(令和7)年4月22日発行

編集: 鈴木 庸、宮本恵理子 / デザイン: TAKAIYAMA inc. / 運営: コツヘル / 発行人: 吉川隆博 / 発行者: 一般社団法人日本精神科看護協会
日本精神科看護協会 〒108-0075 東京都港区港南 2-12-33 品川キャナルビル7F
TEL 03-5796-7033 / FAX 03-5796-7034 / E-MAIL info@jpna.or.jp

「日精看ニュース」偶数月22日発行 | 1部200円+税 ©日本精神科看護協会 2025 | 本誌記事、写真、イラストの無断転載を禁じます

「日精看オンライン」は
パソコンでもスマホでも

➔ jpna.jp



注目支部
に学ぶ!

支部を盛り上げる

3つのポイント
vol.1 香川県

- 施設トップに働きかけるアクション
- 他団体との合同研修会で認知度拡大
- より魅力的で参加しやすい研修会に

西岡 香川県支部は2000年度をピークに会員数の減少が続いていたところ、この2年ほどは回復して2024年度には一気に19名増。前年より10%以上の伸びを記録して、日精看本部で話題になりました。会員増につながった取り組みを教えてください。

因藤 注目いただけうれしいです。会員増にいちばん効いたのは、直接の働きかけです。かつて会員だったのに退会してしまった施設で組織編成があったタイミングで副支部長が訪問し、日精看で得られる価値や意義をお伝えしたんです。院長のご理解も得られて、7人ほど新たに入っていただけでした。以後も同様に施設トップの方に直接お会いして、1人、2人と会員を増やすことができました。

西岡 訪問をして直談判をなさったとはすごいですね。やはりトップの理解は重要ですから。新たに看護部長が就任したときなどのタイミングに合わせたのも素晴らしい。そうした人事情報の共有ができる関係性あったことだと思います。ほかにも取り組んだことはありますか？

因藤 精神科単科病院の看護部長会の場合、支部長以下役員がおじやまとしてアピールさせていただいたこともありました。あと、認知度拡大のために、他団体との連携にも力を入れています。2024年度はかがわメンタルヘルス研究会(香川県立保健医療大学主催)と合同研修会を実施しました。研修に対する評判もよかったです。

西岡 すごくいいじゃないですか。想像

以上に積極的な取り組みで、今、本当に胸が熱くなっています。いい意味で、香川県支部に対するイメージが変わりました。

因藤 それだけ危機感が強いということですね。このままでは支部の存続も危ないのではないかと、という危機感が今の支部役員には強く、なかでも副支部長は非常に熱い方なんです。香川県支部の役員は2年任期の輪番制ですので私もたまたま支部長になったのですが、「副支部長がそこまで動くなら」と刺激を受けています。

西岡 香川県支部の方々の「精神科看護が好き」「香川が好き」という気持ちが伝わってきます。

因藤 私が特に重視しているのは、研修会の強化です。精神科認定看護師の方々に活躍していただき、より魅力ある研修会を企画して発信していくことが日精看のアピールになるはずです。興味のあるテーマをアンケートで集めたり、少しでも金銭的負担を軽減できるよう、会場を会員施設に無償で借りしたりと、できる工夫を重ねています。

西岡 地道な取り組みに頭が下がります。これだけの取り組みを実行していくには、内部の連携が不可欠だと思のですが、思いを共有する機会はつくっているのですか？ 高知県支部では「飲みニケーション」が定番なのですが(笑)。

因藤 2か月に1回の幹事会や看護部長会で顔を合わせたときに話をしています。今後は飲み会も企画してみたいですし、香川だけでなく四国4県で情報共有して協力連携するつながりをもっともてるといいなと思っ

ています。

西岡 ぜひやりましょう。今日うかがったお話は他県にとっても役立つ情報ですし、精神科看護そのものの質を高めていくものです。お互いに切磋琢磨し、困ったときは助けあえる四国ネットワークを強化したいと考えていたところです。私が責任をもって企画します!

因藤 心強いです。ぜひお願いします。
西岡 高松に中四国最大級のイベント施設「あなぶきアリーナ香川」もオープンしたばかりで、これから香川は盛り上がりそうですね。2025年度は新しい支部長へバトンタッチされると聞いています。因藤支部長の思いが受け継がれますように、私もバックアップしていきます。

因藤 ありがとうございます。今後とも連携をよろしくお願いします。



お話をうかがった人

香川県支部長
因藤高茂さん
(香川県立丸亀病院看護師長)
写真は、香川県支部の皆さん
(前列中央が、因藤支部長)。
※役職は2025年3月時点



聞き手

日精看業務執行理事
西岡由江さん
(社会福祉法人ファミリー高知
高知ハビリテリングセンター)